

倫理審査迅速審査申請書

宛先	弘前大学大学院医学研究科長 殿 弘前大学医学部附属病院長	申請年月日	平成29年3月21日	
研究責任者 (申請者)	所属 消化器外科講座	職名 助教	氏名 脇屋太一 印	
			I C R 初級コース修了証 No : 16741	
			利益相反 なし 内容	
所属長	所属 消化器外科講座	職名 教授	氏名 袴田健一 印	
			利益相反 なし 内容	
1. 研究課題名	消化器疾患手術患者における禁煙が栄養状態に及ぼす影響			
2. 対象患者	2012年から2016年の間に、当科における消化器疾患に対する手術症例の内、周術期の栄養状態について検討可能な症例を対象とする。			
3. 対象となる期間	倫理委員会承認日～31年3月31日			
4. 実施診療科等	弘前大学消化器外科			
5. 研究責任者	所属 消化器外科学講座	職名 助教	氏名 脇屋太一	
6. 共同研究者	所属 消化器外科学講座	職名 准教授	氏名 石戸圭之輔	利益相反 なし
	消化器外科学講座	准教授	和嶋直紀	なし
	消化器外科学講座	講師	坂本義之	なし
	消化器外科学講座	講師	工藤大輔	なし
	小児外科学講座	講師	木村憲央	なし
	消化器外科学講座	医員	梅津誠子	なし
7. 研究の意義	栄養状態は、術後短期成績のみならず長期成績をも左右する重要な問題である。一般的に、手術前の消化器癌患者では悪液質が並存し、栄養状態は悪化する傾向にあるが、現時点で有効な対策は確立されていない。古くから禁煙により体重が増加することは知られているが、消化器疾患罹患患者においても同様の変化があるかは十分に検討されていない。仮に、禁煙により消化器癌患者でさえ栄養状態が改善することが示されれば、悪液質対策としてその意義は大きい。			
8. 研究の目的	消化器疾患患者における禁煙が栄養状態に及ぼす影響を明らかにすること。			
9. 研究の方法 (使用する資料等) ■自機関での利用 □他機関への提供 □他機関からの提供を受ける	本研究は、通常診療の範囲内で得られた既存の情報を後方視的に解析する。介入を行わず、新たに試料採取は行わない。既存情報はカルテを利用し、病歴、年齢、性別、身長、体重、血液検査、画像検査などの臨床所見、術式、合併症などの手術関連情報、切除肝の病理所見などの情報を使用する。			
10. 個人情報の保護 ■研究情報の公開 ■拒否の機会の保証	連結可能匿名化をする。対応表は施錠した入退室管理のある部屋に固定された、保護されたパソコンに保存し、データファイルはパスワードで暗号化する。研究内容を当科外来に公開し、連絡先を提示することで対象者の本課題への参加同意の自由および参加撤回の自由を確保する。参加同意を拒否した場合にも何ら不利益を受けない。一旦同意しても、いつでも、理由を問うことなく、自由意志でそれを撤回できる。			
11. 研究の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 学会での発表 (学会名：第72回日本消化器外科学会総会など) <input checked="" type="checkbox"/> 学術誌への投稿 (学術誌名：Annals Surgical Oncologyなど) <input type="checkbox"/> その他 (理由)			
12. 問い合わせ	弘前大学 消化器外科学講座 助教 脇屋太一 電話：0172-39-5079 F A X：0172-39-5080			